

関東大震災 100 年～自然災害の過去、現在、未来、これからの防災・減災～

関東大震災から 100 年である今年、過去の災害への理解を深め、これからの防災・減災について学び考えることが重要です。近い将来、必ず起こると言われる南海トラフ地震、首都直下地震に備え、FPとして見識を深めておかねばなりません。本研修会では、第一部に、地震工学の第一人者であり、地震調査研究推進本部政策委員会の委員長を務められます福和伸夫氏より、地震の歴史から現状までを広く詳しく、第二部に、危機管理コンサルティングに従事されている指田朝久氏より、BCP についてご解説いただきます。

開催日時：2023 年 9 月 9 日(土) 13:00～16:30

第一部「温故知新で関東地震に学び、南海トラフ地震に備える」

名古屋大学 名誉教授 福和 伸夫氏

災禍が重なると歴史が大きく動く。元禄地震、宝永地震、宝永噴火などと元禄文化の終焉、安政東海・南海地震・江戸地震、安政コレラなどと大政奉還、スペイン風邪、大正関東地震、東南海地震などと大正デモクラシーから敗戦など、日本の歴史教育では触れられない。南海トラフ地震が切迫する中、過去に学び温故知新で備えたい。



第二部「経済を支えるための事業継続計画 BCP 入門」

東京海上ディーアール株式会社 主幹研究員 指田 朝久氏

21 世紀は首都直下地震や南海トラフ地震、気候変動に伴う風水害の多発などが想定されている生命の安全への備えはもとより、被災後の経済活動の維持回復も重要な課題である。本講演では経済活動を支えるための経営管理手法である事業継続計画・BCP につき、防災との違いも含めて初めての方にもわかりやすく解説する。



会場：東京都千代田区大手町 1-3-7
日経ビル日経ホール(右地図参照)

受講料：3,300 円

認定単位：3.5 単位(リスクと保険)

※申込受付は、日本FP協会東京支部サイト、または日本FP協会 My ページにて 7 月 24 日より受付開始の予定です。

〈お問い合わせ〉日本FP協会 東京支部
tokyo_bb@jafp.or.jp



福和 伸夫氏【プロフィール】

名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長、名古屋大学、中部大学、愛知工業大学、藤田医科大学、兵庫県立大学の特任教授・客員教授などを務める。地震工学・建築耐震工学などの教育・研究に携わる傍ら防災減災活動を実践。中央防災会議南海トラフ巨大地震対策ワーキング主査、地震調査研究推進本部政策委員長を務めるなど、南海トラフ地震対策、国土形成計画策定、国土強靱化基本計画の見直しなどに注力中。日本建築学会賞、防災功労者内閣総理大臣表彰などを受賞。

指田 朝久氏【プロフィール】

東京海上ディーアール株式会社経営企画部主幹研究員。東京大学工学部卒、東京海上火災保険株式会社入社、情報システム部、リスクマネジメント業務部を経て、現会社設立とともに外向。危機管理、事業継続計画・BCP、情報セキュリティ、内部統制などのコンサルティングに従事。立教大学 21 世紀社会デザイン研究科客員教授他、法政大学、慶応大学、同志社大学のビジネススクール等の非常勤講師を兼務。京都大学博士(情報学)、気象予報士、情報処理技術者システム監査の資格をもつ。



特定非営利活動法人(NPO法人)

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 東京支部